学校通信

矢巾町立矢巾北中学校

わだち

『緑風北魂』

友愛・躍動・創造

2022．09．30

No.18

〒028-3622
矢巾町大字上矢次 7-115
TEL：019-697-1921
FAX：019-697-7526
（文責：伊藤茂美）

新型コロナウィルスの流行により実施を控えていた東京での修学旅行を、３年ぶりに実施しました。とは言っても、安全面を考慮し、一泊二日の短縮日程にできるだけの内容を詰め込んでの実施でした。帰校して２日目となりましたが発熱等の症状を訴える生徒もなく、まずは安全に帰ってくることができたことに安堵しています。旅行中、何度も思ったことは「生徒達が本物を体験できてよかった」ということでした。普段は入ることさえ難しい大聖堂での合唱、高級ホテルでの宿泊、迫力あるミュージカルの鑑賞。「百聞は一見にしかず」のことわざ通り、実際に体験することでわかることがたくさんあったと思います。生徒達の驚きや感動の表情を見る度に、「本物の持つ力」を実感しました。

生徒達の行動も２日間の中でどんどん変わっていきました。初めは先生方の指示が多いように感じましたが、すぐに学年執行部を中心とした係活動が動き出し、明確な指示が出るようになりました。お世話頂く方々への挨拶や謝辞は、普段の活動を通して実践してきた行動が自然に出ているように感じる、とても素晴らしいものでした。そんな生徒達の行動を評価し、声をかけて下さる方がいました。宿泊先の年配の職員の方でした。「私はこのホテルで全国各地の中学生を見てきましたが、これ程素晴らしい生徒さんは久しぶりです。朝の会の様子を見て感動しました。ここまでしっかりとやる学校もなくなりましたよ。」と感慨深げに話してくださいました。毎日、たくさんの修学旅行生を見ている一流ホテルの方からこのような評価をいただき、誇らしく思うとともに北中生のすごさを再確認しました。

来年度以降の修学旅行がどうなるかはまだまだ未定ですが、「本物を体験する」ことの教育的価値からすれば、やはり東京にいくことがベストと感じます。早く感染症が落ち着き、従来のような修学旅行が戻ってくることを願ってやみません。